第32回全国大会開催決定

友愛国際青年年の幕明け

友
発行所
友愛青年連盟
東京都文京区音羽1-7-1
電話 東京(941)2801
発行人 永田 清成
編集人 斎藤久十志
定価 1部 70円

綱領

一、われらは、自由の基盤にめざめ相互の人格を尊重し健全な社会の実現に邁進する。
一、われらは、民主主義の健全な発展のために、全体主義を排除し、日本国民として平和と繁栄を確立する。
一、われらは、科学技術の振興と由来の精神をはかり健康で文化的な福祉国家の建設に積極的につとめる。
一、われらは、企業界の発展に協力し、労働者の地位向上をはかるとともに、世界の平和と人類の福祉に寄与する。

昭和六十年度の運動方針
事業計画等を決定

第三十二回友愛青年連盟全国大会は、四月二十七日、二十八日に東京代々木のオリンピックセンターにて開催される。本年は、「国際青年年」でもあり、活発な討議が展開されることと期待される。

全国大会開催要項

主催 友愛青年連盟

趣旨 新たな友愛運動、青年運動を創造するために昭和六十年度の運動方針、事業計画、予算、組織活動方針を審議決定し、友愛国際青年年の幕明けとする。

期日 昭和六十年四月二十七日(土)～四月二十八日(日)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター
東京都渋谷区代々木神園町三一一

議題 (一)報告事項 昭和五十九年度会務報告 同年度決算報告、(二)本部提出議題案 ①昭和六十年度運動方針 ②同年度事業計画 ③同年度予算 ④同年度組織活動方針 ⑤同年度役員選出 ⑥大会宣言 (三)地方提出議題案 都道府県支部連合会、支部、地区からの提出議題案は、大会議事規則第七条により昭和六十年四月二十日までに、議題案および提案理由を文書にして事務局長に提出する。(四)代議員提出議題案、大会代議員は、大会議事規則第七条により、昭和六十年四月二十六日までに追加議題を事務局長に提出することができる。この議題案を審議するか否かは、大会運営委員会で決定する。

代議員 (一)各支部、地区は一名の代表を代議員とする。(二)都道府県支部連合会は代表一名を代議員とする。(三)本部役員(中央執行委員、中央委員、統制委員)

代議員資格 次の条件の全てを満たした大会開催日現在の代議員資格審査委員会で承認された者。(一)大会一ケ月前の三月二十八日までに正式登録会員であること。(二)都道府県支部連合会、支部、地区で代表に選出された者。(三)昭和六十年四月二十日までに代議員名簿を大会準備委員会に提出した者。

代議員の経費 (一)居住地最寄りの国鉄駅から東京までの往復運賃及び(二)代議員の会期中に要する経費については本部が負担する。オブザーバー (一)オブザーバー名簿を昭和六十年四月二十日までに大会準備委員会に提出する。(二)全ての会議に参加を認めるが、議決権はないものとする。(三)旅費は個人負担とする。

参加費 五〇〇〇円(祝賀会費を含む)

祝賀会 大会参加者、OB、関係者の参集のもとに、第三十二回全国大会を祝う。また、参加者、OB相互の親睦を深める。

委任 代議員を送れない組織及び欠席する本部役員は、委任状を提出する。

日程

	4月27日(土)
13：00	受付
14：00	開会式
15：00	本会議(1)
16：00	分科会
17：00	
18：00	オリエンテーション
19：30	
20：00	第32回全国大会祝賀会
21：00	(役員選考委員会)
	4月28日(日)
8：00	朝食
9：00	
10：00	本会議(2)
11：00	閉会式
12：00	

大会議題案

第三十二回全国大会議題案は、国際青年年をベースとして、既存の組織の強化とそれを核として、組織の拡充を目指すものであり、青年運動にとってまたとないチャンスともいえるこの昭和六十年度を、本運動の歴史の中で、新たなスタートの年としようという活発な運動が展開される年となるだろう。

第一号議案である運動方針も、より内容の充実した組織作りと新しい発想を持った開放的で明朗活発な青年運動体を作りあげる事を最大の目標として、個人と個人の友愛関係の樹立という本来の運動の原点に戻り、地域の中にしっかりと根をおろす運動(地域の理解のもとに地域ぐるみの運動)を積極的に進めるために、仲間づくり、友愛学習及び政治、経済、社会問題の積極的な学習と若手リーダーの発掘と養成、積極的な国際青年年への取り組み、国際交流のあり方の考察と友愛外交の創造と推進(友愛ヴィレッヂ運動)、安定した財源の確保という事を重点課題として進めていく方向であるとの事である。

また、第四号議案である組織活動方針も組織の拡充を重点目標とし、全国の組織会員の再確認の継続と新組織の結成、中広い学習と指導者の養成、民泊受け入れ活動を中心とした地域ぐるみの運動の推進と新たな国際交流の模索(友愛ヴィレッヂ運動)、運営方法の確立、OBとの連携、パンフレット、ポスターの作成と機関紙、雑誌の積極的販売、社会問題の解決に地域開発の促進といった事が盛り込まれている。

五十九年度セミナー幕をとじる

昭和五十九年度友愛社会開発セミナーは、講演会、研究協議会とも実りある効果を挙げて終了した。

◇十和田◇
青森県十和田支部(戸来勉支部長)では、三月十二日(火)に、十和田ホテルサンプラザにおいて、十和田出身の新渡辺稲造博士について神沢惣一郎氏(日大教授、本庄高等学院長)を講師に招き、開催した。(写真上)

新五十円松の新渡辺博士という事で関心も高く、多数の人々が詰めかけ、熱心に講演に耳を傾け、講演終了後の質疑応答では、活発な質疑がなされた。

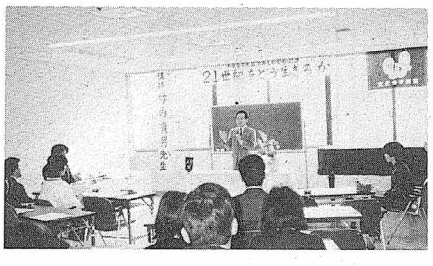
◇徳 島◇
徳島県鳴門支部(田村博愛支部長)では、三月十六日(土)に、二十一世紀をどう生きるかをテーマに竹内貞男氏(フジテレビ解説委員)を講師に招き、高齢化社会等について開催した。(写真下)

当日は、徳島支部の発足会も行なわれ、支部規約の承認、役員選定が行なわれた。支部メンバーは若い活力のある人々が主体であり、今後の活躍が期待される。

昭和五十九年度講師の方々は、次の通りである。

野原 明 氏(NHK解説委員)
河辺 邦博氏(ラジオ放送ニュースキャスター)
吉永 宏 氏(日本YMCA同盟広報委員)
国際青年の会推進協議会会長)
佐藤 紀久夫氏(時事通信解説副委員長)
吉本 浩子女史(国際都市別府を考える会代表)
矢野 広美女史(山梨県教育委員会、元吉本バレーボールチーム主将)
オスマン・サンコン氏(日本ユニセフ協会)
神沢 惣一郎氏(早稲田大学教授、本庄高等学院長)
竹内 貞男氏(フジテレビ解説委員)

とくに野原氏には、いわきと小野町とご講演をお願いいたしました。



会費納入のお願い

昭和五十九年度の会費未納の各組織、個人会員の皆様は早急に会費を納入して下さい。

支部・地区は、登録会員名簿(氏名、住所、生年月日を記入した連記名簿)と入金申込書と共に、次の通り納入して下さい。

〈支部〉 二十名以上
基本会費 二万円＋(二十名を超える分の人数×千円)＝納入額
〈地区〉 五名以上二十名未満
会費額 五千円＋(五名を超える分の人数×千円)＝納入額
〈個人会員〉
会費額 四千円
(いずれも年額。入会金は十円です)

原稿のお願い

友愛新聞は、本部と各組織、各会員同志の連絡・情報交換にとって非常に重要なものです。

各組織での活動や気概に書いて送って下さい。(写真もつけて)

キュートはあなたと一緒に呼吸するスクーター。とても気のいい友だちです。スムーズ&マイルドな乗り心地。扱いやすい軽いボディ。乗るひとがそれこそキュートに見えるスタイリング。さあ、心を開いて走りましょう。1マイル、2マイル……。やさしい風。あふれる光。なんでもないことが素敵にうれしい。見慣れた風景までが、ほら、新鮮に感じられる。自分が輝いてくるのがわかる。キュートといえば、そう、ふだんがキラキラ。

昭和六十年度

事業計画案

昭和六〇年度の事業計画は、運動方針及び組織活動計画に基づいて議案が出されている。

まず、社会開発のための事業としては、友愛社会開発セミナーを開催する。これは、研究協議会、講演会、中央研究協議会の三種類に分けて実施する機関である。研究協議会は、各種テーマの研究、討議として会員の資質の向上を図るという事に趣旨があり、内容としては、活動方法、組織運営、友愛理想などの学習、会員相互の交流、活動情報の交換、地元議師によるお話し、テーマについての討議などを行なう。講演会は、政治、経済、社会、文化などの諸課題について青年、市民の意識の啓発を図る事を趣旨とし、対象も一般市民とする事が研究協議会とは異なり、内容も中央及び地元議師の講演と質疑、友愛の紹介を行なう。中央研究協議会（第二十九回友愛リーダースキャンプ）は、趣旨を運動展開における活動方法、組織運営及び社会問題などを学び最高のリーダーとしての資質の向上を図る事とし、対象を本部役員、連合会役員、支部長及び事務局長クラスとする。この友愛社会開発セミナーについて本部事務局側は、友愛社会開発セミナー週間（仮称）を設け、連続して数ケ所で開催するよう努力したいとの事。これは連続して実施することによって、各開催地及び担当組織にインパクトを与え、活性化を促すとともに各地の連携を自ずるものという事である。

事業計画のうち、国際交流活動は、派遣及び受け入れ事業と国際教育の事業に分かれ、前者は具体的なものとして、第二十次友愛東南アジア使節団、第九次中友好親善友愛使節団、第十二回友愛アジア青年指導者セミナー、（趣旨・アジア地域の青年に我国の社会事情を理解する機会を提供し、国内の各組織においては、アジア青年との交流を図る）、昭和六十年度青少年指導者招へい事業（趣旨・本部及び相手団体の関係を強化し、今後の交流活動の発展に役立てる為）、また、総務庁、中曽根関係団体が主催する派遣事業への積極的参加を進めていく方針との事である。特に、今年は、I・Y・Y「国際青年の村」への参加等、国際青年年に関連した事業への積極的参加も強く推し進めていく方針との事である。

国際教育の事業としては、本年で十一回目を迎えた全日本英語弁論大会（通称鳩山杯）に加え、国際青年年を記念して、友愛称号春日本語弁論大会を開催するとのことである。この日本語弁論大会は外国人青年と日本青年による日本語の弁論大会であり、日本語を通じての友好親善、相互理解を深めることを目的とするものとの事である。

既存の留学生会館とは異なるとのことである。このためには、まず地域住民の国際交流への理解と協力が必要であり、この理解と協力のもとに行なわれる交流及び開発を「ゆうあいヴィレッヂ運動」と呼び、日本全国にゆうあいヴィレッヂを造って行くことが、本運動の目標とする友愛社会の建設に適進する当面の指標になるとのことである。また、この運動によって組織の活性化をはかりたいと言っている。ゆうあいヴィレッヂ運動をスタートするにあたり、本年のアジアセミナーの地方組織受け入れ研修を「国際キャンプ宿」と銘打ち、住民参加の交流を目ざし、ゆうあいヴィレッヂを作るとのことである。

ゆうあいヴィレッヂ運動

また、本部塾行部内の運動方針の追加案として「ゆうあいヴィレッヂ運動」が提出される模様である。提案理由について藤原事務局長の話によると、この運動の究極の目標は、海外よりの長期研修生の宿泊研修施設の建設及び確保であるが、その施設はあくまで日本人青年と地域住民と海外青年の相互理解のための交流の場とより、バンコックでは、ピンヨー大使に世話して頂いたのですが、近代化と古王伝統を重んずるこの国に、親しみを感ずると同時に、〝古き良き物〟が、故国日本では、忘れさられようとしている事に気づき、より〝日本らしさ〟という事を大事にしていきたいと思いました。またそうする事によって外国というものが、もっと深く理解されるのではないかと思えるのでした。

今度の交流は、以前日本に来られた方々との再会を喜び合い、寝食を共にし、暖かいもてなしを受けた事など、忘れられない思い出となり、今後、私のできる限りの力で、この友好の輪を、小さい輪から大きな輪へと、広げていこうという想いを新たにさせてくれたのでした。

オスマン・サンコン氏を招いて

友愛社会開発セミナー熊谷講演会

埼玉県連（根岸寛治会長）は、去る三月九日（土）、熊谷福祉センターに於いて、ファンドV「笑っていいとも」でおなじみの、オスマン・サンコン氏（ギニア共和国日本ギニア友好協会）を講師に招き、「青年の国際感覚と国際問題」と題して友愛社会開発セミナー講演会を開催した。

サンコン氏は、本年が「国際青年年」であることにちなんで、日本の青年と母国ギニアの青年との違いについて講演された。

日本の青年は物質的に恵まれすぎて、道徳心や親を大切にする心という本当に大切なものを忘れているのではないか。これからは、もっと多くの若者がボランティア活動等に参加し、相手の喜びが自分の喜びとなって心が満たされることを覚えていくべきで、この心と心のつながりが、「平和」の基本であると話された。

日本の青年は物質的に恵まれすぎて、道徳心や親を大切にする心という本当に大切なものを忘れているのではないか。これからは、もっと多くの若者がボランティア活動等に参加し、相手の喜びが自分の喜びとなって心が満たされることを覚えていくべきで、この心と心のつながりが、「平和」の基本であると話された。

「小さな輪から大きな輪へ」

友愛柳川支部　松藤照子

昨年の夏、六泊七日かけてシンガポール及びタイ国に、友愛九州ブロックの団員として行って参りました。短い期間でしたが、文化の交流を目的としたこの旅は、とても有意義なものとなりました。

また、十才になる娘を連れて行った事で、より新鮮な目で我が子をみる事ができたのは、母親としても実りあるものとなりました。

ニ・シャリファ大蔵の手厚い歓迎を受けて、目に映る風景はもちろんの事、生活習慣や文化の違いを直かに感ずる事ができ、とても感激しました。また、私たち大人が交流をあたためている間に、おり紙を折ってあげたり、逆におもちゃをもらったりしている娘と、シャリア夫妻の子供達との間にも〝親睦〟という言葉を見つける事ができました。

中央日誌

3/12 十和田懇談会（十和田サンプラザホテル）
13 友愛クラブ（キャピトル東急ホテル）
14 中華全国青年連合会歓迎会（ニューオータニ）
16 徳島懇談会（徳島市アミコ）
22 青森第六回定例会（日本青年館）
24 第九回中央常任委員会
第五十六回中央委員会（本部）
28 仙台青年育成国民会議第二十三回通常総会（日本青年会議所会館）
4/8 核兵器廃止平和建設国民会議事務局次長会（核兵器事務局）
9 友愛婦人会（はなれ）

ボランティア募集中
バッヂの販売も行っています

アフリカ飢餓救済キャンペーン

●主催／国際青年の年推進協議会　●後援／総務庁、外務省

国際青年の年推進協議会（青少年問係55団体等で組織）では、ＩＹＹマーク入りの色鮮やかなブルーとレッドのバッヂ（七宝しあげ）を使って、キャンペーンを展開しています。
目的は、このバッヂの販売を通して、「国際青年年」を一人でも多くの人に知ってもらうことと、売り上げの一部をアフリカ飢餓の救済に当てることです。（バッヂ１個200円のうち、100円をアフリカへ、残りはバッヂ製作費と送料等の諸経費に当てます。）今、このキャンペーンの目的に共鳴し、バッヂ販売に協力してくれるボランティアを募集しています。
ボランティアを希望する方は……
①住所　②氏名　③TEL（連絡先）
④年齢　⑤所属団体または勤務先・学校名　⑥バッヂの販売予定数（バッヂは１個200円、１ボランティアの最低販売数は10個）をハガキに書いて、下記にお申し込み下さい。
おり返し、バッヂと活動の手引をお送りします。

また、併せてバッヂの直接販売も行っています。ご希望の方は、住所、氏名、バッヂ購入数を明記の上、バッヂ代および送料を添えて下記にお申し込み下さい。（切手可、送料…３個まで60円、４～７個まで70円、８～９個まで170円、10個以上無料）

国際青年の年推進協議会ＩＹＹバッヂ係
渋谷区代々木神園町3-1　国立青少年センター内
TEL 03-460-4160（直）〒151
郵便振替口座／東京 1-178670

インテリア時計製造販売
ホダカ　クロック
株式会社穂高産業
代表取締役　渡辺義隆
本社　岐阜県美濃加茂市下米田町小山160-2
〒505 TEL05742-5-2789（代表）
第一工場　美濃加茂市下米田町小山
第二工場　美濃加茂市枚野町
営業所　岐阜市高野町３丁目

明日を拓くシステムと技術の東洋実業グループ！
●清掃等建築物の環境衛生一般管理●冷暖房空調、電気関係等設備の管理●警備、保安●案内、受付、電話交換、駐車場管理●公園管理●原子力セキュリティ、放射線管理
株式会社東洋実業グループ
株式会社東洋実業
代表取締役　吉川智堯
札幌本社
札幌市中央区南１条西２丁目（長銀ビル）
☎（011）251－7654・261－9520
東京本社
東京都新宿区西新宿1丁目26番2号（新宿野村ビル）
☎（03）345－0351（代表）
営業所
札幌、函館、小樽、室蘭、苫小牧、岩見沢、旭川
帯広、北見、釧路、富良野、恵庭、千歳、石狩

営業品目
紙業関係…紙業全般の企画・デザイン・製造加工
化成品関係…ビニール関係製品の企画・製造
システム関係…ビデオ全般における企画・製作電算機関連機器の販売・設計・製作
リプロ関係…マイクロ写真、電子コピー
繊維関係…染色、加工、印刷
食品関係…麺類ブランド商品の企画販売塩干及青果物・その他一般食品の販売
ニッセー株式会社
本社　東京都千代田区外神田４－５－４
〒101　TEL03-253-7581代
営業所　大阪・五反田・茅場町・京橋・川崎
工場　静岡県富士工場　倉庫　高島平倉庫

営業品目
アスファルト系舗装工事
セメント系舗装工事
其の他各種舗装工事
舗装に付帯する各工事
株式会社中嶋組
取締役社長　中嶋信行
東京都世田谷区中町四一七一三
電話（420）一一三一番

バイオ技術ととりくむ　メナード
男は、
黙に目くじらたてたり
むきになったり
世話がかかる
だから、
可愛い。
風間杜夫
●コンディショニングローション 180ml ¥4,000
●スキンプロテクター 120ml ¥4,000
●オーデコロン 120ml ¥5,500
●ヘヤーリキッド 160ml ¥4,000
●ヘヤートニック 160ml ¥4,000
●スキンローション 160ml ¥4,000
髪を守り、肌のうるおいを保つ新・男性化粧品ギーベル。知的でライトなモダンスパイシーの香りが、ナイーブなやさしさを演出します。
メナード新・男性化粧品
ギーベル
メナード化粧品は心をこめてメナードレディがお届けいたします。